

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	環境施設課担当課長	関沢 勝也	
環境-15 ダイオキシン類削減対策施設整備事業	☐ 自治事務	主管課	環境施設課	
	☐ 法定受託事務	関連課		
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止

1 事業の目的

対象	名越・今泉クリーンセンター等
意図	処理施設の整備及び適正管理を図るため。
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

名越・今泉両クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
決算値(千円)	4,828	3,596	当初予算(千円)	2,062	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	4,828	3,596	一般財源	2,062	
人員配置数	0.3	0.2	人員配置数	0.2	
人 件 費(千円)	2,367	1,522	人 件 費(千円)	1,541	
総事業費(千円)	7,195	5,118	総事業費(千円)	3,603	
市民1人当りの経費(円)	41	29	市民1人当りの経費(円)	20	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ その他	見直しの内容 名越クリーンセンター周辺の調査地点だけでの調査となる。
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☒ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	今泉クリーンセンターの焼却停止に伴い、今後は名越クリーンセンターの調査地点だけでの調査となる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成27年度は名越クリーンセンター周辺及び今泉クリーンセンター(鎌倉市市内分)の調査を実施した。今後は、名越クリーンセンター周辺の調査地点だけでの調査となるため、予算規模は縮小する。		

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	今泉クリーンセンターの周辺調査は、今泉クリーンセンターの焼却停止に伴い、横浜市栄区での大気環境調査は行わず、鎌倉市内の調査地点のみ調査した。 名越クリーンセンターの周辺調査は、大気環境調査と土壌環境調査を実施した。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	大気環境調査は毎年、土壌環境調査は3年に1回実施しており、平成27年度は名越クリーンセンター周辺地域の大気環境調査、土壌環境調査を実施し、今泉クリーンセンター周辺地域は鎌倉市内の調査地点のみで大気環境調査を行い、いずれも周辺環境に影響のないことを確認した。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	なし	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	環境基準に適合					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
周辺環境へ影響を及ぼすことがないように焼却施設の運転管理を行っていることを、確認する必要があるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0		
	実績値	100.0	100.0							
	達成率	100.0%	100.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---